

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

静岡県島田市 島田市立総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	ド透I未訓ガ	救臨感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
95,698	38,070	-	第2種該当	7：1

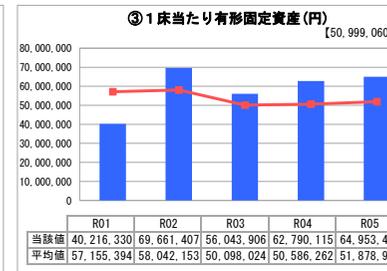
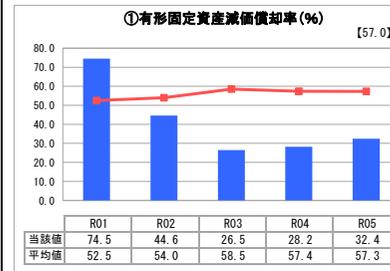
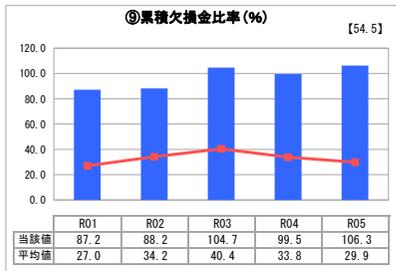
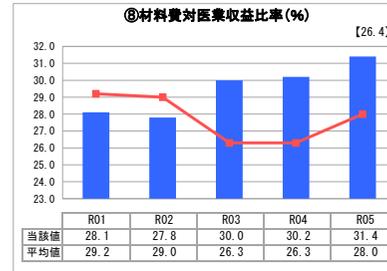
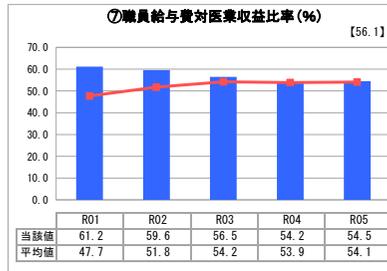
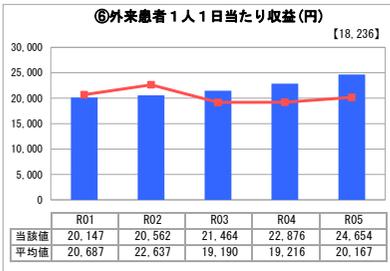
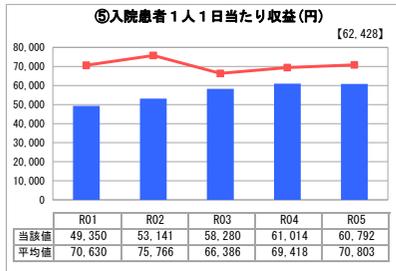
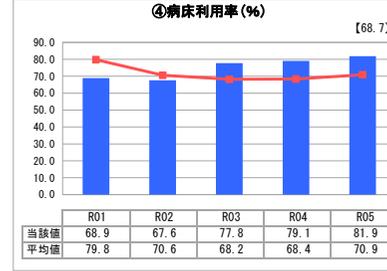
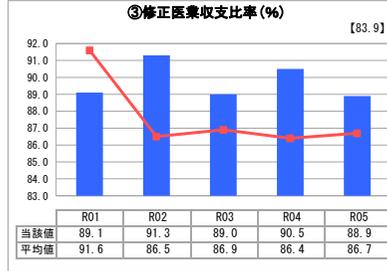
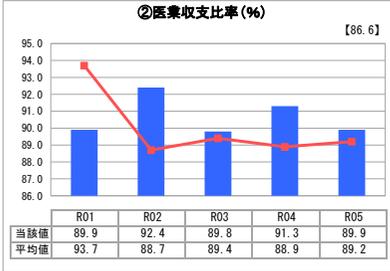
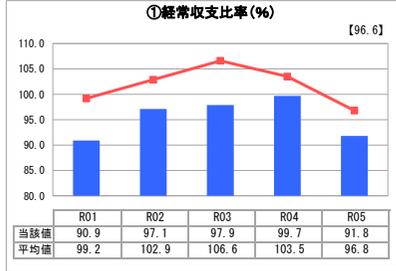
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
435	-	4
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	445
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
432	-	432

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
-	類似病院平均値（平均値）	
【	令和5年度全国平均	

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

業務分化・連携強化 (従来の両輪・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

### I 地域において担っている役割

基幹病院の一つとして、他の公立病院とも連携し急性期医療を中心に担っている。  
 ・救急告示病院として、救急搬送応需率は99%（令和5年度実績）であり、地域の二次救急に貢献している。  
 ・地域医療支援病院として、地域医療を担うかかりつけ医や診療所等と密接な連携を図っている。  
 ・静岡空港立地地する医療圏における唯一の第二種感染症指定医療機関に指定されており、結核病床4床、感染症病床6床を有している。  
 ・災害拠点病院として、DMAT 1チームを有し、災害の際の派遣や受け入れに対応するべく訓練等を行い備えている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

昨年度と比べ、経常収支比率等の経営指標は悪化しているが、修正医業収支比率は類似病院平均値を上回った。新病院開院からある程度医師数が確保できており、医業収益は過去最高を更新しているが、新型コロナウイルス感染症関連の補助金の激減と、人事労務費による給与費、物価高騰や診療の増に伴う材料費等の経費、新病院建設事業に伴う減価償却費などの費用がかさんでいることにより、収支の黒字を見込むのが難しい状況となっている。職員給与費対医業収益比率は激増であるが、材料費対医業収益比率は昨年度より1.2ポイント増加しており、薬品・診療材料等のより効率的な使用に努め、入院患者1人1日あたり収益の増加にもつなげたい。医業外収益による資金確保についても、一般会計との調整や情報収集を進めていく。

#### 2. 老朽化の状況について

令和3年度に移転開院した新病院建設事業に伴い有形固定資産の減価償却率が低下し1床当たり有形固定資産の額も高くなった状態が続いている。器械備品減価償却率は旧病院から継続して使用しているものも多く徐々に高くなってきている。経常費用として、今後も数年にわたり多額の減価償却費の計上が見込まれ、古い器械の修繕や買い替えも増えてくるが、施設や医療器械等ができる限り長く効率的に運用したい。

### 全体総括

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が2類から5類になったことにより大きな変化があった。外来患者数は発熱外来の影響で減少したが、1人1日あたり収益は上り効率化が進んだ。入院患者数は昨年度と比べ多くの収入が可能となり4,877人増加し、医業収益は順調に増加した。しかしながら、費用の増加が収益の増加を大きく上回り、より苦しい経営状況が続いている。引き続き医師や看護師の安定した確保につなげるため、勤怠管理システムによる労働時間の明確な管理や、タスクシフトなど、働きやすい環境を整えたい。また、患者数の増加、病床の有効活用及び適切な診療報酬の確保に加え、市内・近隣郡内の病診連携を一層強化し、志太様原圏域やその周辺の医療機関との病診連携を継続し、さらなる取り組みを目指す。以上により医業収益の増加、物価高騰の情勢の中でも費用を抑える努力を行い、経常収支比率等の改善を図り、志太様原医療圏の基幹病院の一つとして地域医療の貢献に努めたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。